

## ゼミナールにおける研究報告（2）

### A Study of ITO Seminar

伊 藤 幸 子

ITO Sachiko

奈 良 佐 保 短 期 大 学  
研究紀要第15号 2008年3月 別刷

## ゼミナールにおける研究報告（２）

### A Study of ITO Seminar

伊 藤 幸 子

ITO Sachiko

本ゼミナールにおける課題は、社会福祉、介護福祉および関係領域に関してゼミ生が興味のある事柄について自由に研究し、発表できる形（パネル展示および論文）とすることとしている。社会福祉に関する職業を全うする際、利用者の最善のケアを行うにあたっては常に自己研鑽が要求され、価値、知識、技術の獲得を目指さなければならない。したがって、学習する姿勢は社会人となってからも要求されることはいうまでもない。このような姿勢を育成することを目的として教員が研究について指導を行い、ゼミ生が努力を重ねた結果、論文が作成された。これらの成果について研究報告としたい。

#### はじめに

本稿は、学生が「音楽療法」の講義に興味を持ち、また重症心身障害児施設への実習体験もあったことから、自閉症児に対するその効果について焦点を絞って研究した内容である。構成は、音楽療法について定義、歴史、そしてその効果について述べ、次に自閉症についても定義、歴史、分類、さらに症状および療法について提示している。最後に、「音楽の持つ働き」と「自閉症児の症状の特徴」との関係について、言葉を用いなくとも音楽によって直接自閉症児に働きかけるため効果的であると考察している。

### 自閉症児に対する音楽療法の効果

生活科学科生活福祉専攻 井 口 奈 那

#### 1. はじめに

自閉症は一人ひとり症状の現れ方が違う障害である。そのため、応用行動分析、感覚統合療法など様々な療法があり、その中で、特定の療法が全ての自閉症患者に有効であることはない。

今回は、その様々な療法の中で、授業で学んだ音楽療法が自閉症児にもたらす効果を調べた。

#### 2. 音楽療法について

##### （１）定義

音楽療法の定義は様々であるが、日本音楽療法学会

は、「音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること」と定義している<sup>1)</sup>。

音楽療法は演奏などの活動的音楽療法と音楽を聴くなどの受容的音楽療法の二つに分かれる。また、現代的な意味での医療とは区別され、現代西洋医学領域において、科学的未検証および臨床未応用の医学・医療体系の総称のひとつに位置づける立場もある。

##### （２）歴史

音楽療法の起源は古代にまでさかのぼり、呪術者が

神と交信する際に用いた宗教的な音楽が始まりである。音楽が神と交信する際に用いられた理由については、音は触れることのできないものであり、それゆえに音楽は目に見えない世界との交流に関係づけられやすかったからである。当時の音楽は、あくまで神との交信が目的であったので、その音楽を聴いて人々がどのような気持ちになろうと関係なく演奏されていた。

#### ①古代

当時の病は悪霊などの目に見えない精霊の仕業によって起こるものと考えられていたため、病を治すために、悪霊を追ひ払う呪術的な音楽が用いられた。

#### ②ギリシア時代

この頃、アレキサンダー大王が演奏を聴いて非常に興奮したり、ハーブの音色を聴くことで鬱病が良くなったという話がある。

3人の哲学者ピタゴラス、プラトン、アリストテレスは音楽を運動現象として捉え、それが聴く人の魂を動かすと考えた。

この頃にはすでに、どんな気分の時にどのような音楽やどのような楽器が効果的であるか、治療的方法が見出されていたのである。

#### ④ルネサンス時代

音楽療法は分析的、実用的になり、リズム・振動・メロディー・ハーモニーが人間にある種の緊張や弛緩をもたらすことが研究された。

#### ⑤18・19世紀

18世紀末から音楽の心理的効果が明らかにされ、実験医学的実証的な考え方（プラグマティズム）が、音楽療法を医学的に大きく発展させた。

#### ⑥20世紀以降

米国の音楽療法研究はレクリエーションや職業治療の一環として行われた。第二次大戦後から明確な目標を持って音楽療法が実施された。現在わが国では、福祉施設や病院を中心に音楽療法が実施されている。

### （3）音楽療法の効果

バリー・キャシレスは、『代替医療ガイドブック』において「音楽療法は立証済みの補完療法であり、多くの病状や問題に効果を上げている。治癒力はなく、いくつかの補完療法のように、重大疾患の治療法として勧められることもない。しかし、優れた補完医療法

の例にもれず、幸福感や生活の質を高め、症状を軽減し、初期治療やリハビリテーションの効果を高めてくれる」と述べている<sup>2)</sup>。

### （4）平成12年11月に行なわれた音楽療法国際フォーラムで発表された臨床例

#### ①高齢者

- ・施設で孤立していた高齢者が仲間に入るようになった。
- ・老化防止、生きる意欲と活力増進に役立った。

#### ②認知症者

- ・重度アルツハイマー型認知症者が心を開き、セラピストと一緒に歌を歌うようになった。
- ・意思表示が困難だった人が、自分からリクエストをしたり、意思表示ができるようになった。

#### ③その他

- ・失語症の方が興味のある話題には熱心にしゃべるようになり、好きな歌であれば正確に歌えるようになった。
- ・中途障害者は、明るさを取り戻し、積極性も出てきた。
- ・自閉症児の場合、音楽や絵に興味を示すようになり、集中力が出てきた。また、学習障害児についても同様の効果がみられた
- ・精神・運動発達遅滞者で、言葉や表情を示さない方が自らの意思を発信するようになった。

### （5）その他の事例

- ・精神病院の入院患者1,400人に30分間ピアノ演奏を聴かせたところ、全員がリズムに反応。
- ・音楽の種類により脳内の血行が変化。
- ・歌唱が心拍や血液循環、呼吸、消化に影響。
- ・喘息患者が非発作時に歌うと、以後の発作の減少などが認められた。

## 3. 自閉症について

### （1）自閉症の定義

社会性や他者とのコミュニケーション能力の発達が遅滞する発達障害の一種、先天性の脳機能障害である。現在わが国には自閉症患者が約36万～120万人いるとされている。

## (2) 歴史

1943年アメリカのジョーンズ・ホプキンス大学の児童精神科医であるレオ・カナーによって「早期幼児自閉症」として報告される。カナーは、「聡明な容貌・常同行動・高い記憶力・機械操作の愛好」などを特徴とする一群の幼児に対し、統合失調症（精神分裂病）の一症状を表す用語である「自閉」という言葉を用い、「自閉症（オーティズム）」と名づけた。

## (3) 原因

現在では先天性の脳機能障害によるとされており、多くの遺伝的因子が関与すると考えられている。保護者の教育や生まれ育った環境が原因で、自閉症になるということはありません。

## (4) 分類

自閉症は症例が多彩であり、健常者から重度自閉症者までの間にははっきりとした壁はなく、境界が曖昧である。

### ①高機能自閉症

知的障害がないもの（一般的にはIQ70以上）を高機能自閉症やアスペルガー症候群（言語障害は無いが、視覚認知・空間認知力に、問題を生じる）と呼ぶことがある。「高機能」というのは知能指数が高いという意味であるが、平均的な健常者より高いとは限らず、知的障害との境界域の場合もあれば、一部平均的な健常者をはるかに上回る場合もある。

### ②サヴァン症候群

サヴァンとは、仏語で「賢人」という意味で、知的障害や自閉性障害のある者のうち、ごく特定の分野に限って、常人には及びもつかない能力を発揮するものを指す。

## (5) 症状

1. 社会的な相互交渉の質的な障害、2. コミュニケーション機能の質的な障害、3. 活動と興味の範囲の著しい極限性の三つを主な特徴とする行動的症候群である。なお、症状は3歳までにあらわれる。また、言語の発達の遅れ、対人関係においての困難、反復的な行動を繰り返す、行動様式や興味の対象が極端に狭いなどの様々な特徴がある。

①DSM (The Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders；精神障害の統計と手引き) に

## 掲げられている症状

自閉症の特徴および例については、表1のような症状が提示されている。

### ②その他、低機能自閉症児の特徴の一例

- ・自動車・電車・バス・飛行機・船などの乗り物への強い関心。うん蓄が豊富な場合も多い。
- ・数字や風景など、特定のものに対する高い記憶能力。
- ・ある特定の音に対する強い不快感。
- ・客観性を持たない文章。または、事実だけを羅列した文章を書くこと。

## (6) 自閉症児に対する療法

### ①応用行動分析 (ABA)

行動変容法とも呼ばれる。物事、身辺自立等を教えるときに、課題を分析し、細かい段階に分け、子どもの理解に合わせながら一步一步積み上げていく。新しいことを理解、または出来るようになったときに、誉めるなどして、その行動を行うことが本人にとってすごく楽しいこと、うれしいことになるようにしていく。

### ②感覚統合療法

アメリカのエアーズという女性の作業療法士が、1970年に学習障害児のための治療法として開発されたものである。日本にも20年ほど前に導入され、LDや自閉症の治療プログラムとして現在に至っている。

### ③太田ステージ

自閉症の発達段階を、言語の理解やシンボル機能の獲得段階によって評価し、その発達のステージごとに適切な課題を与えることにより、認知機能を促す。

### ④音楽療法

音楽の持つ生理的・心理的・社会的な働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的計画的に使用する療法である。

### ⑤抱っこ療法

この療法の根本は、自閉症児と他者（親も含む）の間のきずな（関係）が構築されてなく、子どもは自らが拒絶されていると感じ、自分を守るために殻に閉じこもっているという前提に立っている。理論的な段階に基づいて、強制的に抱きしめる療法である。

表1 DSM（精神障害の統計と手引き）に掲げられている症状

質的障害	症 状	例
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視線の相対・顔の表情・体の姿勢・身振り等、非言語行動がうまく使えない。</li> <li>・発達の水準にふさわしい仲間関係が作れない。</li> <li>・興味のあるものを見せたり指さしたりする等、楽しみ・興味・成果を他人と自発的に共有しようとししない。</li> <li>・対人的または情緒的な相互性に欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話をしているにも視線が合わない。叱られているのに、笑っている。</li> <li>・初対面の人に対する無関心。</li> </ul>
意思伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉の発達に遅れがある。または全く話し言葉がない。</li> <li>・十分会話があっても、他人と会話を続けることが難しい。</li> <li>・同じ言葉をいつも繰り返し発したり、独特な言葉を発する。</li> <li>・発達の水準にふさわしい、変化に富んだ『ごっこ遊び』や社会性を持った『物まね遊び』ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン現象。</li> <li>・一問一答の会話になってしまう。長文で会話ができない。</li> <li>・人と会話をする際に同じ返事や会話を何度もする。</li> </ul>
限定され、いつも同じような形で繰り返される行動・興味・活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に強く（場合によっては異常なほど）、常に繰り返される決められた形の一つ（もしくはいくつか）の興味にだけ熱中する。</li> <li>・特定の機能的でない習慣・儀式にかたくなにこだわる。</li> <li>・常同的で反復的な衝動（げんき）的運動物体の一部に持続的に熱中する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の物、行動などに対する強い執着心。</li> <li>・物を規則正しく並べる行動。水道の蛇口を何度も開け閉めする行動。</li> <li>・おもちゃや本物の自動車の車輪・理髪店の回転塔など、回転するものへの強い興味。手をヒラヒラさせて凝視する。</li> </ul>

#### ⑥コロロメソッド

自閉症のこだわりやパニックなどの問題行動を解決していくために、タイミング法や抑制系、行動トレーニングや耐性訓練学習、発語プログラム、登山等で、より良い状態に引き上げていく療法である。

#### ⑦ファシリテッド・コミュニケーション（FC）

介助者（ファシリテーター）が重度の知的障害や自閉症児者がコミュニケーションのためのメッセージを記す間、その手や腕の代わりをつとめ、予期されなかったような

知的に高度な内容のメッセージを示す方法である。

研究を重ねるにつれ、メッセージは介助者が創作し、介助者がメッセージの内容について知識がない場合は、重要なコミュニケーションが生じないことがわかっている。

#### ⑧遊戯療法

心理療法の一つであり、自閉症がまだ情緒的な原因に基づくと思われた時代に行われた療法である。

#### ⑨乗馬療法・イルカ療法

馬に乗ったり、イルカと触れ合う療法である<sup>3)</sup>。

#### 4. 音楽療法と自閉症の関係（自閉症児に対する音楽療法の有効性）

音楽は情動（感情に似た心の動き）に直接働きかける。そのため、援助者がクライアントの感情（負の感情も含める）に応じた音楽を即興することによって、クライアントは理解されている・受け入れられている自分を意識でき、自然な感情の表出につながる。

#### 5. 考察

音楽療法は、音楽の持つ働きである生理的・心理的・社会的な働きを生かすことができる。そしてその働きは、図1に示すように自閉症の症状といわれる、1. 社会的な相互交渉の質的な障害、2. コミュニケーション機能の質的な障害、3. 活動と興味の範囲の著しい極限性という三つの特徴にそれぞれ対応しているのではないかと考えられる。

自閉症は、音楽療法を用いて治療する疾患の中でも意思伝達における障害があるため、音楽療法を実施するにあたっての説明等が困難であると考えられる。

しかし、音楽は言葉で感じるものではない。つまり、音楽は感情や神経に働きかけるため、例え無意識であっても全身で感じる事が可能であると考えられる。そのため、自閉症児に対して音楽療法を実施するにあたって、言葉を用いて説明等を行わなくとも、楽器を用いて鳴らしたり、援助者が鳴らす音を聞いたりすることによって自然と理解することができる。また、自由に行うことができるため、ストレスが少なく、自発的に感情を全身で表現することができると考えられる。こ

のことからDSMの診断基準に挙げられている症状であるコミュニケーションにおける質的な障害や、意思伝達の質的な障害によって生じる問題が少しは改善されることが考えられる。

#### 6. おわりに

今回自閉症と音楽療法の関係について調べる中で、改めて音楽の持つ力を知ることができ、自閉症の症状の奥深さにも気づくことができた。また、調べる前までは、自閉症児に対し、音楽療法はかなり効果があるものと考えていたが、症状によってはそうでないということも分かった。

自閉症と一言でいっても、それぞれの症状によって対応も様々で、その人に合った治療やケアが最良であると感じた。しかし、その人に合った治療やケアを考えるのは決して簡単なことではない。それをいかにして見出し、相手が満足できるように実施していくのが大切であり、援助者の役割のひとつであると考えた。

#### 引用文献

- 1) 音楽療法学会  
<http://www.jmta.jp/about/definition.html>
- 2) バリー・キャシレス (Barrie R. Cassileth) ;  
浅田 仁子・長谷川 淳史訳：代替医療ガイドブック、春秋社 (2000)
- 3) おひさまクラブ  
<http://homepage3.nifty.com/ohisama/ryoho.htm>

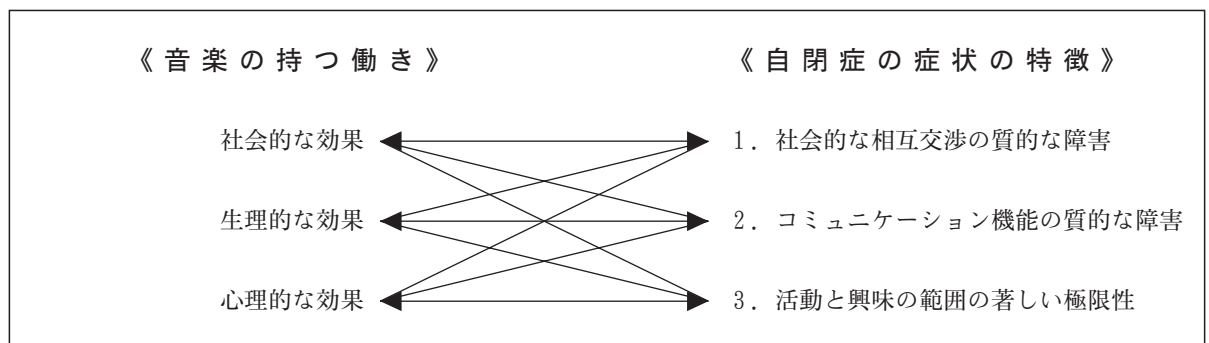


図1 音楽の持つ働きと自閉症の特徴